⚠ 電化機器をご使用のお客さまへ
ご注意ください！

誤って使用すると

電気料金が割高になる可能性があります。

エコキュート・電気温水器

●「タイマー」の表示時刻が合っているかをご確認ください。

電気温水器・エコキュートは、電気料金が割安な夜間時間帯に通電し、1 日に使う分のお湯を沸かします。
そのため、本体もしくはリモコンのタイマー設定が誤っていると、電気料金が割安な夜間時間帯以外に通電し、電気料金が高くなる可能性があります。
もし、電気温水器のタイマー設定を 12 時間（午前・午後）誤って設定したまま 1 ヶ月使用すると、
タイマーを正しく設定した場合の電気料金より、

約 16,400 円※ 高くなるのでご注意ください。

※札幌市・4 人家族（年間給湯負荷 22,316M J / 年） 370L 温水器を使用した場合の 1 ヶ月あたりの電気料金差額
電気料金は、平成 26 年 11 月 1 日実施単価の時間帯別電灯（ドリーム 8）昼間時間第 3 段階単価（40.10 円）と
夜間時間帯単価（14.13 円）を用いて試算

＜確認内容・設定方法＞

●本体もしくはリモコンに時計表示がある場合、現在時刻の表示方法は、「12 時間（午前・午後) 表示」と「24 時間表示」があります。ご使用の機種が、いずれのタイプであるかを留意のうえ、現在時刻と表示時刻にずれがないかを確認してください。

●現在時刻と表示時刻がずれている場合は、取扱説明書で操作方法を確認のうえ、正しく設定してください。

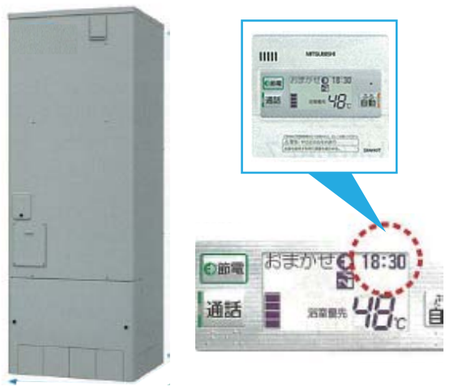
＜例＞ 24 時間表示：現在時刻が午後 2 時 30 分の場合 → 表示時刻を 14 時 30 分 に設定
12 時間表示：現在時刻が午後 2 時 30 分の場合 → 表示時刻を 午後 2 時 30 分 に設定

※ただし、夜間時間帯を変更している場合などは、現在時刻を 1 時間ずらして設定する機種もございますのでご注意ください。

●正しく設定した後も、停電復帰後や月に 1 回程度は、現在時刻と表示時刻にずれがないかを確認してください。

▼本体に時計表示がある電気温水器 /12 時間表示（例）

▼リモコンに時計表示があるエコキュート /24 時間表示（例）



●「沸き増し」設定が継続されていないかをご確認ください。

湯切れした場合に、電気料金が割安な夜間時間帯以外に通電してお湯を作ることができる機能が「沸き増し」設定です。
機種によっては、一度「沸き増し」を設定すると、解除するまで毎日継続するものがあります。
この場合、一定量のお湯を使用すると、時間帯に関わらず通電するため、解除せずに使用を続けると、電気料金が高くなるのでご注意ください。

※「沸き増し」設定ができない機種もあります。

＜確認内容・設定方法＞

●本体もしくはリモコンの表示に「沸き増し」（機種によっては「追焚き」など）が設定されたままになっていないかを確認してください。
（「沸き増し」機能の名称は、メーカー・機種によって異なりますので、取扱説明書でご確認願います。）

●「沸き増し」が設定されたままになっている場合は、取扱説明書で操作方法を確認のうえ、解除してください。

▼「沸き増し」設定表示（例）
（この機種での名称は、「追焚き」）

●「沸き上げモード」を適正に設定しているかをご確認ください。

お湯の使用状況が、沸き上げモード（「おまかせ」・「多め」・「少なめ」など）の設定と適合していない場合、
電気料金が割安な夜間時間帯以外に頻繁に通電し電気料金が高くなる可能性があるのでご注意ください。

【沸き上げモードが不適切な例】
・1 日の使用湯量が多いのにもかかわらず、沸き上げモードを「少なめ」（沸き上げ温度：低）で設定
→頻繁に湯切れする（湯切れ解消のため昼間時間帯に沸き上げが必要になる。）
・1 日の使用湯量が少ないのにもかかわらず、沸き上げモードを「多め」（沸き上げ温度：高）で設定
→多くの湯量を確保するために、時間帯に関係なく頻繁に沸き上げする

＜確認内容・設定方法＞

●お湯の使用状況に適応した沸き上げモードに設定しているかを確認してください。
（沸き上げモードの設定目安は、取扱説明書をご確認ください。）

●取扱説明書の記載内容にしたがって、適切な沸き上げモードを設定してください。

タイマーが分電盤付近に設置されている場合もあります。

電気温水器・エコキュートの本体もしくはリモコンにタイマー（現在時刻表示）がない場合、分電盤付近にタイマーが設置されている場合があります。
そのタイマーの設定が誤っていると電気料金が高くなる可能性があるのでご注意ください。

＜確認内容・設定方法＞

●現在時刻が正しく設定されているかを確認してください。

●「常時通電」など、電気料金が割安な夜間時間帯以外にも通電する設定になっていないかを確認してください。

●誤って設定されている場合は、取扱説明書をご確認のうえ正しく設定してください。

▼分電盤付近にタイマーがある場合／
デジタル式・アナログ式表示例

デジタル式　アナログ式

裏面もご覧ください。⇒

蓄熱暖房器

●「タイマー」の表示時刻が合っているかをご確認ください。

蓄熱暖房器は、電気料金が割安な夜間時間帯に通電し、蓄熱レンガに熱を蓄えてお部屋を暖めます。
そのため、本体もしくはリモコンの<u>タイマー設定が誤っていると、電気料金が割安な夜間時間帯以外に通電し、電気料金が高くなる可能性があります。</u>
もし、蓄熱暖房器のタイマー設定を 12 時間（午前・午後）誤って設定したまま 1 ヶ月使用すると、タイマーを正しく設定した場合の電気料金より、

約　15,600 円※ 高くなるのでご注意ください。

※蓄熱暖房器（容量 5 ｋ W）1 台を、1 日あたり 4 時間通電させた場合。
電気料金は、平成 26 年 11 月 1 日実施単価の時間帯別電灯（ドリーム 8）昼間時間第 3 段階単価（40.10 円）と夜間時間帯単価（14.13 円）を用いて試算

＜確認内容・設定方法＞

●本体もしくはリモコンの表示時刻が、現在時刻とずれていないかを確認してください。
●表示時刻が現在時刻とずれている場合は、取扱説明書で操作方法を確認のうえ、正しく設定してください。

＜例＞　現在時刻が午後 2 時 30 分の場合　→　表示時刻を 14 時 30 分　　に設定
※ただし、夜間時間帯を変更している場合などは、現在時刻を 1 時間ずらして設定する機種もございますのでご注意ください。

●正しく設定した後も、停電復帰後や月に 1 回程度は、現在時刻と表示時刻にずれがないかを確認してください。

タイマーが分電盤付近に設置されている場合もあります。

蓄熱暖房器の本体もしくはリモコンにタイマー（現在時刻表示）がない場合、分電盤付近にタイマーが設置されている場合があります。
<u>そのタイマーの設定が誤っていると電気料金が高くなる可能性があるのでご注意ください。</u>

＜確認内容・設定方法＞

●現在時刻が正しく設定されているかを確認してください。
●「常時通電」など、電気料金が割安な夜間時間帯以外にも通電する設定になっていないかを確認してください。
●誤って設定されている場合は、取扱説明書をご確認のうえ正しく設定してください。

▼分電盤付近にタイマーがある場合／
デジタル式・アナログ式表示例

デジタル式　　アナログ式

暖房給湯一体型　電気温水器 エコキュート

給湯

●「タイマー」の表示時刻が合っているかをご確認ください。

暖房給湯一体型は、電気料金が割安な夜間時間帯に通電し 1 日に使う分のお湯を沸かします。
そのため、本体もしくはリモコンの<u>タイマー設定が誤っていると、電気料金が割安な夜間時間帯以外に通電し、電気料金が高くなる可能性があります。</u>
暖房給湯一体型電気温水器の場合、タイマー設定を 12 時間（午前・午後）誤って設定したまま 1 ヶ月使用すると、タイマーを正しく設定した場合の電気料金より、

約 16,400 円※ 高くなるのでご注意ください。

※札幌市・4 人家族（年間給湯負荷 22,316M J / 年）　370Ｌ温水器を使用した場合の 1 ヶ月あたりの電気料金差額
電気料金は、平成 26 年 11 月 1 日実施単価の時間帯別電灯（ドリーム 8）昼間時間第 3 段階単価（40.10 円）と夜間時間帯単価（14.13 円）を用いて試算

＜確認内容・設定方法＞

●本体もしくはリモコンの表示時刻が、現在時刻とずれていないかを確認してください。
●表示時刻が現在時刻とずれている場合は、取扱説明書で操作方法を確認のうえ、正しく設定してください。

＜例＞　現在時刻が午後 2 時 30 分の場合　→　表示時刻を 14 時 30 分　　に設定
※ただし、夜間時間帯を変更している場合などは、現在時刻を 1 時間ずらして設定する場合もございますのでご注意ください。

●正しく設定した後も、停電復帰後や月に 1 回程度は、現在時刻と表示時刻にずれがないかを確認してください。

●「沸き上げモード」を適切に設定しているかをご確認ください。

<u>お湯の使用状況が、沸き上げモード（「おまかせ」・「標準」・「控えめ」など）の設定と適合していない場合</u>、
電気料金が割安な夜間時間帯以外に頻繁に通電し<u>電気料金が高くなる可能性があるのでご注意ください。</u>
【沸き上げモードが不適切な例】
・1 日の使用湯量が多いのにもかかわらず、沸き上げモードを「控えめ」（沸き上げ温度：低）で設定
→頻繁に湯切れする（湯切れ解消のため昼間時間帯に沸き上げが必要になる。）
・1 日の使用湯量が少ないのにもかかわらず、沸き上げモードを「おまかせ多め」（沸き上げ温度：高）で設定
→多くの湯量を確保するために、時間帯に関係なく頻繁に沸き上げする

＜確認内容・設定方法＞

●お湯の使用状況に適応した沸き上げモードに設定しているかを確認してください。
（沸き上げモードの設定目安は、取扱説明書をご確認ください。）
●取扱説明書の記載内容にしたがって、適切な沸き上げモードを設定してください。

暖房

●暖房開始時は、必ず暖房用のブレーカーを「ＯＮ」にしてください。

<u>暖房用のブレーカーが「ＯＦＦ」のまま、暖房用リモコンの暖房運転を「入」にすると、暖房側のヒーターではなく給湯側のヒーター（もしくは、ヒートポンプユニット）が稼働するため、</u>電気料金が割安な夜間時間帯以外に通電し<u>電気料金が高くなる可能性があるのでご注意ください。</u>

＜確認内容・設定方法＞

●取扱説明書の記載内容にしたがって、暖房用ブレーカーを暖房開始時には「ＯＮ」、暖房終了時には「ＯＦＦ」にしてください。
（給湯側にもブレーカーがありますので、誤って「ＯＮ・ＯＦＦ」しないようにご注意ください。）